

『復刻・幼児の教育』

〔趣旨〕

『幼児の教育』は、明治三十四年に『婦人と子ども』と題して創刊されて以来、わが国の保育の発展と歩みをともしてきた。その後今日に至る七十余年の間に、この誌上で発表された記事や論説は、保育理論の先駆的な役割を果たし、わが国の幼児教育の発展に寄与するところ大であった。また、雑誌出版史上においても、現在まで継続する最古の月刊誌のひとつである。

本雑誌の戦前版は、月刊誌という性格上、また震災、戦災による焼失が相まって、今日では研究機関ですら、完全な揃いは皆無であり、研究者が容易に閲覧できない現状である。一昨昨年の幼児教育百年、今年の国際児童年と、幼児の問題に対する一般の関心は、著しい高まりをみせている。

この機会に、わが国の幼児教育の進歩の様相を目のあたりに概観する好個の原資料として、また先覚者たちの抱負と熱意の結晶する稀有な文献として、同誌戦前版を復刻刊行する。

〔体裁・内容〕

全二〇巻、別巻一、A5判、クロス装、外函入、題字・東山魁夷、別冊記念論集

《一卷～二〇巻》『婦人と子ども』明治三十四年～大正九年

※わが国幼児保育の普及期

※一年分を一巻に合本。各巻平均六百頁

○表表紙から裏表紙まで、広告頁も含めて、完全に復刻する。

○色刷の表紙も、できる限り近い色で再現する。

○写真印刷上、出にくい文字部分の一部修正のほか、原則として原本に手を加えない。

○今回の復刻を第一期とし、時機をみて、残りの戦前版部分を第二期として刊行する。

《別巻》二八〇頁程度

・解題 # 『幼児の教育』戦前版について

・東基吉・倉橋惣三の関係論攻

・総目次 戦前版すべての目次を収録

・年表 幼児教育百年史

〔刊行〕 名著刊行会

〔予価〕 現金価格 一八〇、〇〇〇円

〔申込・問合わせ先〕

総発売元・株式会社コーディック

東京事務所 東京都千代田区神田神保町一―四七 大森ビル

TEL 東京 (〇三) 二九四―三八六五

本社 大阪市東区今橋二―二二 藤浪ビル

TEL 大阪 (〇六) 二二七―五三四一 (代)